

緑のボランティア通信

2012.2.1

NO.18

平成23年度「里山ボランティア育成講座」修了しました!

川崎市の北西部の緑地は、かつては里山と呼ばれ、雑木を薪や炭の材料にしたり、落ち葉を堆肥にするなど定期的な管理が行われており、様々な動植物が生息する豊かな環境が保たれていました。しかし、昭和30年代以降、都市化の進展や化石燃料の普及、化学肥料の登場によりその役割が失われ、里山は減少の一途をたどりました。また、利用されなくなった里山では、動植物の種類の減少など、多様な環境資源が失われつつあります。



こうした状況を踏まえ、川崎市では、川崎市緑の基本計画に基づき、「特別緑地保全地区」や「緑の保全地域」の指定拡大の施策を講じることで緑地を残し、市民と行政のパートナーシップによる保全活動を進めています。一方、市民からも、「体を動かして貴重な緑を守りたい」「豊かな自然と触れ合いたい」という声上がり、身近な緑地の管理を行うボランティアグループが生まれてきました。



このような流れの中で、川崎市では平成12年度から「里山ボランティア育成講座」を開催し、里山活動の人材育成に努めてきました。平成18年4月からは、川崎市公園緑地協会内の緑のボランティア活動を支援することを目的として新設された「緑の活動支援課」に引き継がれ、日程内容を充実させながら取り組んでいます。

今年度の講座は平成23年5月から平成24年1月まで全6回行いました。年間を通した各講座では、里山の環境や管理手法、救急法や安全管理等の基礎知識の座学を行うと共に、市内の様々な緑地において、下草刈りや間伐、竹林整備等の作業を体験しながら、道具の使い方や手入れの仕方の講習を行ってきました。また、併せて実施した「研修会」は、短時間で1回ごとに参加者を募ったことから、これからボランティアを始めようと思っている方から、レベルアップを狙う講座卒業生や活動団体のメンバーまで、幅広い層の参加がありました。樹木の下枝落としや低木の刈込のテーマには、公園緑地の維持管理を行っている皆さんも参加し、大きくなりすぎたアジサイやツツジの剪定に挑戦しました。



今後におきましても川崎の緑を育み里山の再生を図るには、継続的な市民の活動が不可欠なものとなっています。里山ボランティア育成講座を通じ、一人でも多くの方が保全活動の担い手となり地域に根差した活発な活動に参加することを期待します。24年度の講座は次号で紹介し、4月以降に募集します。是非ご参加ください。

目次

平成23年度里山ボランティア育成講座	1
協会ニュース	2
活動団体訪問・自己紹介コーナー	3
ツリー・ウォッチング	4



実施報告

◆「2011 花と緑の交流会」開催

11月26日(土)高津市民館において、交流会が開催されました。劇団飛行船によるミニ劇場「ロビンフッドの冒険」や専門性を追求した5つのミニ講座等に延べ700人が集まりました。詳しくは、報告書として「花と緑の交流会だより」を作成しましたのでご覧ください。次回は平成25年1月26日(土)計画中です。

◆「お正月鉢植え講習会」実施

活動団体の皆様を対象とした、恒例の鉢植え講習会には99人の参加者がありました。暮れも押し迫った12月16日(金)川崎市総合自治会館に、日本盆栽協会川崎多摩支部長の関山弘志先生を講師に迎え、日本の伝統を伝えるお正月用の寄せ植えに挑戦しました。梅をはじめ、松、竹等それぞれの手入れの仕方や水やり、置き場所等のお話もあり、上手に管理して、満開の梅と共に新年を迎えられたことでしょうか。



◆「花と緑のまちづくり講座」終了

昨年8月から開催された全6回の講座が終了しました。受講生は緑化推進リーダーを目指し、座学やワークショップ、デザインや花植えの実践に取り組みました。今後は講座での学習、体験を活かし、地域の団体の中心になって活躍することを期待します。

参加者募集!

◆さとやま研修会⑥ 竹林整備、低木の刈込、他

日時：2月18日(土)10時～12時 会場：早野聖地公園 対象：関心のある方。作業のできる小・中学生も保護者と参加できます。参加費：無料 申込方法：はがき、電話、FAX等で公園緑地協会内「さとやま研修会」係まで〒住所・名前・電話番号等をお知らせください。

◆こども黄緑クラブ 冬編「虫たちの冬ごし」

日時：2月19日(日)10時～12時 会場：川崎市緑化センター 対象：小学3年生～中学生とその保護者25人 参加費：無料 申込方法：往復はがきに〒住所・名前・電話番号・学校名・学年・保護者名を明記し、公園緑地協会内「こども黄緑クラブ冬」係まで。定員に満たない場合は電話で前日まで受け付けます。



◆「第8回わがまち花と緑のコンクール」作品募集

みなさまの家庭や地域において、花や緑による優良な景観をつくり出している花壇等の作品を募集します。申込方法：3月1日(木)から4月15日(日)までに、所定の応募用紙に必要事項を記入し、写真4枚添付の上、公園緑地協会内「わがまち花と緑のコンクール」係まで郵送してください。応募用紙は区役所、市民館、図書館などで配布中です。

お知らせ

◆チャレボラ2012「汗して守ろう、かわさきの緑」実施場所募集します。

今年も、社会福祉協議会や市民活動センターと共に、夏休み期間を活用し、次世代を担う子どもたちに緑のボランティア体験学習の場を提供します。昨年は、花壇の手入れや観察会、森の整備や生き物調査等4コースに33人の参加がありました。日程は7月下旬から8月上旬。対象は小学生から高校生。チャレボラに協力いただける団体は2月中にご連絡ください。調整のうえお願いいたします。



◆緑政課より「コラボ植樹募集！」苗木配布の情報です。

2010年全国植樹祭コラボ植樹にはご協力いただきありがとうございました。皆様の手入れで健やかに育っているでしょうか？川崎市緑政課では緑地で活動されている団体を対象に再度、苗木の提供を行います。詳しくは川崎市緑政課にお問い合わせください。

野川第1公園管理運営協議会（2005年設立）

活動場所 野川第1公園（宮前区野川 3025）
交通案内 東急田園都市線「鷺沼駅」より
東急バス 梶ヶ谷行「野川台公園前」下車0分

自治会発足当初より公園緑地愛護会として清掃活動を続け、協議会への移行後も引き続き管理運営を行っています。初めは自治会の役員がメンバーでしたが、毎月1日と15日を定例清掃日と決めて公園近くの自治会員に呼び掛け、登録メンバー以外の方でも手伝ってもらっています。

活動場所の野川第1公園は、小杉駅、鷺沼駅、梶ヶ谷駅行の3つのバスの停留所があり、野川地区の大切な交通拠点として、地域の方々が多く利用し、大変目につく場所です。花壇の植え替えは6、9、12月の年3回。樹木の刈込は年



2回。その他、随時花がら摘みや伸びた枝の剪定、藤棚の補修や清掃活動を行っています。置いてあるベンチがいたずらで移動されていたりするので元に戻すようにしています。花壇の周囲の土留丸太が痛んできたので補修を考えていたところ、一昨年、近所で建て替えのあった家から青い屋根瓦を頂き、縁どりにつかったのが良いアクセントになりました。

公園緑地協会からの、他のグループの情報や種々の講座案内等参考になります。助成金は花苗の購入に使わせていただき大いに助かっています。
(小林輝夫)



川中島中学校区地域教育会議（1998年設立）

活動場所 川中島中学校 学区内の7つの町会地域
（川崎区藤崎、川中島 他）
交通案内 京急「川崎大師駅」より 徒歩15分

川中島中学校区地域教育会議は、あいさつ運動や花いっぱい運動を初め地域が元気になる活動をしています。花いっぱい運動は、川中島中学校を拠点として会員61名で平成11年度から花で地域を繋ぎ、きれいな花を見て、心を和ませてほしいという願いを込め、まちづくりを展開しています。花を育てるには雑草取りが重要な作業となり継続的な努力であり、皆で粘り強く雑草取りを行っています。10月には文化祭で花植えの体験講座として、当教育会議の面々が子供たちとともに花壇づくりやプランターを使った花植えを行い、花を植えたプランターは川中島中学校区域の街角50ヶ所に子供達とともに配布しています。地域の方からは、「いつもありがとう」「心が和みます」「いつもきれいな花をみせていただきありがとうございます」という声をいただいております。今後も、地域の方々とともにまちづくりを推進してまいります。私達の活動は、年3回発行する会報や広報誌でお知らせするとともにホームページでお知らせしています。



（大浦正彦）

川崎市の“♪この木 何の木 気になる木?”

TVのCMで有名な“あの樹”は、ハワイ州オアフ島の『モンキー・ポッド(アメリカネムノキ)』という樹ですが、実は、川崎市にも“あの樹”にそっくりな、“気になる木”があります。オアフ島には行けなくても、川崎の“気になる木”なら行けるかも? あなたも、見に行ってみませんか?

No. 8 古代芝生の“気になる木”…“名前はシラカシ〜♪”



東高根森林公園

住所 宮前区神木本町 2-10
交通案内 JR 南武線「武蔵溝ノ口駅」南口より
市バス「森林公園前」下車

ここは『東高根森林公園』の古代芝生(弥生時代の住居跡)広場。もし、川崎中北部に“ヒトの影響の無いまま残っている森”があったとしたら、自然はこのシラカシで森を作っていたであろうといわれる樹種です。この木は樹高約15mほど。この広場の周りのシラカシの自然林は、県の天然記念物に指定されています。



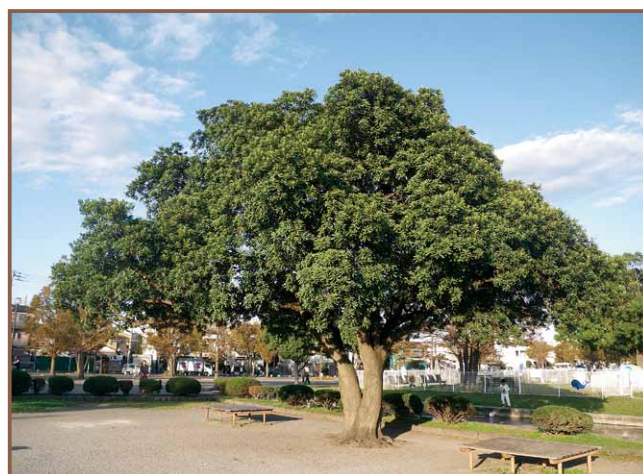
No. 9 大師公園の“気になる木”…“名前はホルトノキ〜♪”

ここは『大師公園』の川崎大師側。関東が北限の、暖帯から亜熱帯の常緑樹。枝に落葉前の赤い葉が常に混じるのが特徴。別名モガシとも。“ホルトノキ”とは、ポルトガルの木の意味で、“オリーブ”と間違えて、エレキテルで有名な平賀源内が名付けたそうですよ。この木は、樹高約7mほどで、花や実を観察しやすい樹です。



川崎大師公園

住所 川崎区大師公園 1
交通案内 京急大師線「東門前駅」より徒歩8分



*このコーナーでは、川崎市内の銘木・珍木・希少木の情報を募集します。あなたのご近所の“地名の由来にもなった銘木”や“巨樹”、“珍しい花が咲く木”“変わった風景の木”、“調べてほしい不思議な木”などの情報をお寄せください。取材して、このコーナーで紹介いたします。